

新座市立第二中学校 ICT 活用の方向性

国(GIGA スクール構想) 令和元年 12 月 13 日

- ・ 生徒用の一人一台の端末と高速大容量のネットワークの整備
- ・ 誰一人取り残すことのないよう公正に個別最適化された学びや創造性を育む教育
- ・ これまでの教育実践と最先端の ICT 教育をベストミックス

新座市教育委員会「令和の日本型学校教育」の実現に向けた取組

にいざ GIGA スクール NEXT5.0

—授業改善で Society5.0 を自在に生きる力を育む—

個別最適な学び

協働的な学び

学習の個性化・指導の個別化

多様な他者との協働

新座市立第二中学校 令和 4 年度 重点目標

これまで実践してきた教育活動を新たな視点で見直し、一人一人の確かな成長を実現するため、ICT 機器を積極的に活用するなど教育活動の効率化、質の向上を目指す。

現状の課題

- ①これまでの授業を見直すことなく、ICT を活用しただけの授業（学習効果が十分に高まらない）
- ②ICT を活用しているものの教師主導による知識伝達型の授業（効果は限定的）
- ③ICT 活用技術に教師間格差がある授業（系統的な学習効果が高まらない）
- ④インターネットからの情報を収集するだけの授業（思考力・判断力・表現力は高まらない）
- ⑤挙手できる生徒だけの発言で展開する授業（学びが深められない）
- ⑥発言できない生徒の意見や考えを他の生徒に共有できない授業
- ⑥教師によってまとめられた板書（教師が学習内容をまとめ板書すると生徒にまとめる力が育たない）
- ⑦黒板に書かれていることを黙って写していく生徒（教師がいなければ学べない生徒になってしまう）
- ⑧学校ではルールを守り ICT を活用していても家庭では ICT でゲームをしている生徒
- ⑨教師の長時間勤務による疲弊

1 ICT 教育の方向性

一人一人の生徒が豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする。

2 ICT を活用した授業改善で育まれる力

情報活用能力 批判的思考力 問題解決力 意思決定力 創造力 コミュニケーション力 メタ認知力

3 ICT 教育の取組

- ①これまでの教育実践と ICT との最適な組み合わせ（ベストミックス）の実現
- ②個別最適な学びの実現（指導の個別化・学習の個性化）
特性や学習進度に応じた指導法・教材の提供。個に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会の提供
- ③協働的な学びの実現
集団の中の個が埋没しないよう異なる考え方が組み合わせさり、よりよい学びを生み出す機会の提供
- ④個別最適・協働的な学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ⑤感染症拡大や非常災害発生時における休校等場合でも学びの保障、不登校・欠席生徒の学びの保障
- ⑥授業はもとより様々な教育活動で ICT を活用させそのスキルと向上と情報モラル教育の推進
- ⑦デジタルシティズンシップ教育の推進 自ら考え判断し行動できる生徒の育成
- ⑧デジタル化推進による教育活動・業務の効率化、質の向上